

オープンサイエンスを支える3つの基盤



大学や専門分野の研究機関と共に
日本におけるオープンサイエンスの展開に貢献

データ管理基盤



管理基盤（GakuNin RDM）は、研究者がプロジェクトにおいて、研究データを迅速に管理・共有できるクラウドサービスです。共同研究グループ内でのデータのアクセス制御機能、データ解析機能、メタデータ管理機能等を持ちます。外部ツール連携やデータ証跡管理機能等、日々の研究でのデータ管理に必要な機能を備えており、研究者はデータポリシーに沿ったデータ管理を負担なく実現できます。

データ公開基盤



WEKO3



公開基盤（WEKO3）は、研究者の成果物である研究データや研究論文などを公開するリポジトリシステムです。研究成果の公開に必要なメタデータ項目の設定機能など、リポジトリの運用に必要とされる機能を備えています。また、管理基盤をはじめとした NII RDC と連携することで研究成果の公開を促進します。機関リポジトリのクラウドサービス JAIR Cloud を通して最先端のリポジトリ機能を国内の大学や研究機関に提供します。

データ検索基盤



検索基盤（CiNii Research）は、公開基盤や他のリポジトリで公開された学術情報を、横断的に検索するための次世代検索サービスです。研究データだけでなく論文や図書、それらの成果を生み出した研究者や研究プロジェクトなどの関係性を表現する、大規模知識グラフを提供します。CiNii Research は、研究データや文献の発見だけではなく、新たな研究テーマの着想や実施をサポートします。



国立情報学研究所 オープンサイエンス基盤研究センター

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

e-mail rcos-office@nii.ac.jp

web <https://rcos.nii.ac.jp/>

RCOS



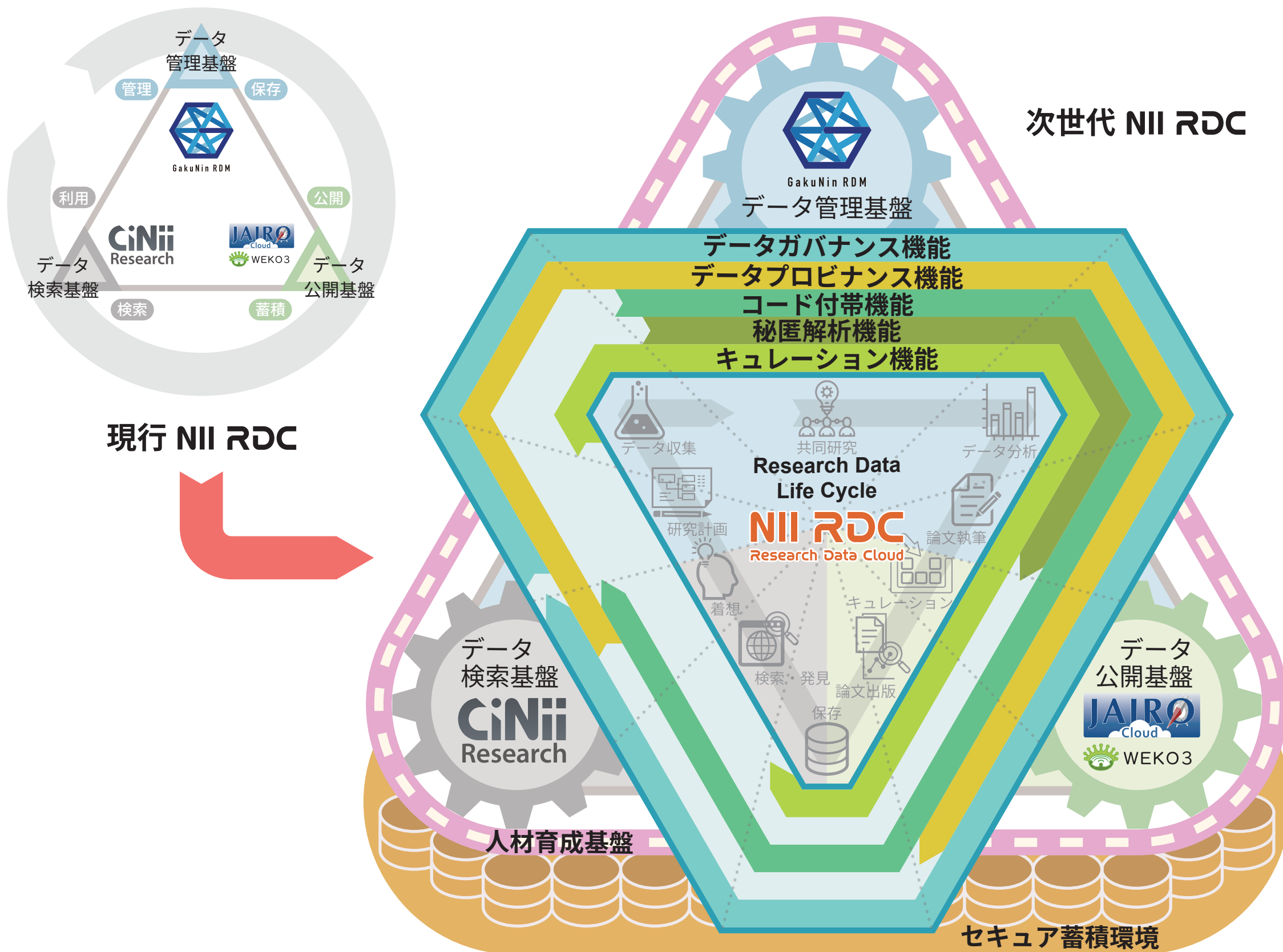
NII Research Data Cloud

国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター（RCOS）のミッションは、世界最先端のオープンサイエンス研究環境「NII Research Data Cloud：NII RDC」を開発することです。2017年より開発を進めてきた NII RDC は、学術研究活動の過程で生成される研究データを管理・公開・検索するための情報インフラとして 2021年に本格運用を開始しました。

世界中でオープンサイエンスの取り組みが加速する中、研究におけるデータの重要度が高まり、データポリシーの策定や全学的なインフラ整備など、大学や研究機関が組織として果たすべき役割も重要となっています。NII RDC は 2022年度以降、さらなる機能開発を継続し、全学的な研究データ管理やオープンサイエンスへの取り組みに必要な、すべての機能を提供します。

学術研究データプラットフォーム

— NII Research Data Cloud のさらなる発展 —



データガバナンス機能 **管理**

研究データ管理の計画と執行、モニタリングを組織的に実現する機能。研究データ管理計画 (DMP) の作成を支援し、研究者が守るべきポリシーや計画に沿った環境を自動的にセットアップ。組織は研究データ管理状況をモニタリングすることで研究の効率化と研究公正を促進します。

データプロビナンス機能 **信頼**

データを利用する研究者がデータの来歴を確認できるとともに、データを提供する研究者が自身のデータの利用状況を確認できる機能。研究不正の疑いから研究者と組織を守り、データ公開への取り組みを後押しします。

コード付帯機能 **活用**

研究者が用いたデータ・プログラム・実行環境定義をまとめて「計算再現パッケージ」として公開・再利用できる機能。先行研究のデータ解析を他の研究者が確実に再現し、発展的な研究を円滑に始められるようにします。

秘匿解析機能 **保護**

データ提供者が開示を許可しないデータを、暗号化したまま解析することを可能にする機能。データの秘匿性を最大限に担保することにより、安全・安心なデータ利用を実現し、データ駆動型研究をさらに促進します。

キュレーション機能 **流通**

データキュレータの人的ネットワーク基盤を提供します。研究者は各分野の専門的なキュレーションサービスを受けることで負荷の高いデータ公開業務から解放されるとともに利用価値を高めた形で研究データを公開できます。

セキュア蓄積環境 **蓄積**

分離されたネットワークやデータベース、専用ハードウェアと高度な暗号化技術による超鉄壁なストレージを提供し、機微情報を取り扱う研究プロジェクトでデータの共有と保護の両立を実現します。

人材育成基盤 **育成**



研究データ管理に必要なスキルを学ぶための教材や学習者の受講状況が確認できる環境を提供。研究者、研究支援者のオープンサイエンスのリテラシーの向上に貢献します。

研究推進と研究公正の両側面から研究データを管理・公開・検索する活動をサポート